

(様式 1－3)

福島県（葛尾村）帰還・移住等環境整備事業計画

帰還・移住等環境整備事業等個票

令和 7 年 5 月時点

※本様式は 1－2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	68	事業名	農業基盤整備促進事業（野川・上野川地区）	事業番号	(5)-42-4
交付団体	葛尾村		事業実施主体（直接/間接）	葛尾村（直接）	
総交付対象事業費	20,617（千円）		全体事業費	212,617（千円）	
帰還・移住等環境整備に関する目標					
葛尾村では、原発事故による全村避難に伴い長期間農用地等の適切な管理をすることができず、水田に設置してある地下水排除のための暗渠排水管の機能低下が進み、表土や耕盤層の湿潤化を引き起こし耕耘や刈取りに支障を来し、営農再開及び営農継続の大きな障害となっている。葛尾村は、平成 28 年 6 月及び令和 4 年 6 月に一部地域を除き避難指示が解除されたものの、現在帰村率は 30%程度にとどまっており、今後村における稲作振興の観点からも農用地をより良い状態に維持・管理して農作業の効率化を図ることが不可欠である。 そのため、本事業を導入し農業基盤の整備を進め作業効率を向上させることにより、作付面積の拡大を図り農業環境を改善していく。さらに、村民の帰村促進にもつなげて、担い手を始めとする農業人口の拡大により地域及び村の農業振興、地域再生を図ることを目標とする。					
事業概要					
長期間農用地や暗渠排水施設の管理ができなかったことや、経年変化による地下水排除機能の低下も相まって営農再開、再開後の営農の継続に支障をきたしている。営農再開の達成、安定した営農継続の実現に向けて早期の整備が必要なことから、令和 7 年度から令和 12 年度までの 6 ケ年で設計、暗渠排水の機能回復工事等を実施し、農業者が効率的に営農再開できる環境整備を図る。 ※本事業実施内容 1. 暗渠排水工 A＝54.0ha 【葛尾村農業再生アクションプラン】 P.1 「担い手」 担い手の育成、担い手への集積 ・農地集積と基盤整備による効率的な営農環境の実現 P.2. 「稲作振興」 震災前の稲作面積の回復を目標 ・基盤整備、法人化等の経営体制強化					
当面の事業概要					
<令和 7 年度> 1. 暗渠排水工（測量設計） A＝54.0ha <令和 8 年度～令和 12 年度> 1. 暗渠排水工					
地域の帰還・移住等環境整備との関係					
本事業導入によって、本格的な営農再開に向け暗渠排水の機能回復のための整備を行うことで、住民の早期帰還を促進し、営農再開及び継続的営農による地域の農業振興並びに地域再生を図る。					
関連する事業の概要					

特になし

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	